

落酒造場初の蔵開きイベントと北房お大師巡りの調査開始

真庭市北房の落酒造場にて、落酒造場初の蔵開きイベントと北房お大師巡り（秋の部）が行われました。AZAEプロジェクトの一環として、農泊の滞在型プログラムに組み込むことを目標に、イベントに参加しながら調査に励みました。

1. 蔵開きの概要

「大正の鶴」でおなじみの落酒造場が初の蔵開きイベントを開催しました。蔵開き限定の酒の販売や酒蔵見学、酒蔵でのミニコンサート、10歳未満の子供を対象にしたお菓子のつかみ取り、酒粕を使ったグルメコーナーの設置等をし、集客をしていました。

岡山商科大学の学生たちが、イベントの手伝いをしながら来場者へヒアリングをしました。

(1) 開催日時

平成30年9月23日（日曜日）
（9時00分～14時00分）

(2) 場所

株式会社 落酒造場（真庭市下皆部664-4）

(3) 参加者

岡山商科大学 学生
経営学部商学科3年生 3名

2. 北房お大師巡りの概要

北房お大師巡りは、春と秋の年2回開催されている北房の伝統行事です。北房に点在する八十八カ所の寺院やお堂を参拝し、お接待を受けます。

岡山商科大学の学生たちが3日ある内の2日間、実際に北房のお大師巡りを体験しながら場所や札番号・ご本尊・札所の印象など調査しました。

(1) 開催日時

平成30年9月22日（土曜日）～23日（日曜日）

(2) 場所

真庭市北房地区

(3) 参加者

岡山商科大学 学生
経営学部商学科3年生 3名